

◆令和元年度 岐阜連携都市圏ビジョン懇談会 開催概要

日 時	令和2年1月29日(水曜日) 午後2時から午後3時10分まで
場 所	岐阜市役所本庁舎低層部4階 全員協議会室
議 題	【報告】(1) 令和元年度連携事業の取組状況について 【議事】(1) 岐阜連携都市圏ビジョン改定案について
出席委員	座 長 福士 秀人 (国立大学法人岐阜大学 応用生物科学部教授) 副座長 徳広 圭子 (岐阜聖徳学園大学短期大学部 幼児教育学科教授) 委 員 國島 正人 (株式会社十六銀行 公務営業部長) 委 員 今井 静治 (岐阜信用金庫 業務監査課検査役) 委 員 野田 寧宏 (社会福祉法人瑞穂市社会福祉協議会 会長) 委 員 久納 万里子 (羽島郡二町教育委員会 教育委員) 委 員 林 直樹 (公益社団法人岐阜県バス協会 専務理事) 委 員 河尻 満 (岐阜商工会議所 常務理事) 委 員 宇野 睦 (山県市商工会 会長) 委 員 黒田 隆 (岐南町商工会 会長) 委 員 青木 輝泰 (本巣市観光協会 会長) 委 員 川上 さやか (北方町婦人会 会計) オブザーバー 安村 倫央 (岐阜県清流の国推進部市町村課 課長)
議事概要	委員からいただいた主な意見 【令和元年度連携事業の進捗報告について】 ・観光振興は短期的に捉えるのではなく、市町が連携して長期的な戦略で取り組んでほしい。 ・全国の乗合事業者の70%が赤字の状況で、少子化が進めば路線維持は困難になる。今後は地域住民の利用だけでなく、国内外の観光客を取り込んで公共交通を利用してもらうことが重要。 ・企業の商談会や就職説明会などはある程度の規模がないと効果が薄いため、連携して取り組むことで相乗効果が得られる。 【岐阜連携都市圏ビジョン改定案について】 ・学習指導要領の改訂がなされ、教科書が変わるタイミングであり、教科書カリキュラムの事業が立ち上がることは実効性も高く、大変期待

している。

- ・航空写真の共同撮影は各自治体のコスト削減など目に見えて効果がわかる。

コスト削減できる事業やひとつの市町では効果の出にくい事業、または、実行が難しい事業を洗い出し、圏域として進めて行ってほしい。

- ・SDGsの17番目のアイコンはパートナーシップで目標を達成することであり、まさに岐阜連携都市圏ビジョンの目的につながる。

SDGsの視点を取り入れることは非常にマッチしている。

- ・広域連携の取組を住んでいる地域の人にもうまく伝えることが大事だと考える。

SDGsの視点を広く伝えるとともに、広域連携の良さも広めて行ってほしい。